

II 目的

株式会社東京リーガルマインド（通称：LEC）は、創業以来「実社会から求められる専門能力・知識・技術の修得」を教育理念に掲げ、資格取得支援事業や社会人のキャリアアップ支援事業などに取り組んできた実績と経験を活かし、平成 17 年 4 月に、千代田区における株式会社立大学院として、LEC 東京リーガルマインド大学大学院高度専門職研究科会計専門職専攻（略称：LEC 会計大学院）を開設した。

本会計大学院では、専門職学位課程の役割と目的を鑑み、本会計大学院の使命・目的・教育目標を定めているが、このたびの自己点検・評価活動において、自己点検・評価委員会から、使命・目的・教育目標について、時代の趨勢を鑑み文言や表現の見直しをした方がよい、との指摘を受けた。これを踏まえ、研究科委員会にて検討した結果、使命・目的・教育目標について、若干の文言等の修正を行っている。以下、修正後の使命・目的・教育目標を記載する。

【使命】

本会計大学院の使命は、理論と実務の融合を志向した教育研究によって高度な会計専門知識・実践力及び職業倫理観を兼ね備えた会計専門職業人を輩出し、経済社会の発展に貢献することにある。

【目的】

本会計大学院の目的は、経済のグローバル化・情報化に即して、職業倫理観を兼ね備え、国の内外の会計基準や税務に精通し、高度の思考力・判断力・実践力を有する、質の高い会計専門職業人を養成することにある。

【教育目標】

（1）会計専門職業人としてふさわしい会計・税務知識及び職業倫理観の修得

情報技術活用能力や論理的ディベート能力を通じて、国際財務報告基準・国際税務及び税法規範・会計基準・実務慣行を学修し、もって会計専門職業人としての高い識見と実践的な職業倫理観の修得を目標とする。

（2）最新の監査証明業務などの実効的な体系的理解の構築

監査証明業務は、国内外の関連する諸機関の動向を踏まえた専門的知識の体系的理解を目標とする。その他の業務、例えばコンサルティング業務などについては、業務の遂行に必要な経営に関する幅広い知識の体系的理解を目標とする。

（3）グローバルに活躍できる会計専門職業人の養成

国際会計士連盟が発表した「職業会計士のための国際教育基準」及び文部科学省の研究委託事業である「会計大学院におけるコア・カリキュラム」の基本的な枠組や考え方を踏まえ、論理的思考と展開能力、情報技術を活用した分析能力の修得をケース・メソッド形式などで行い、もってグローバルに活躍できる会計専門職業人の養成を目標とする。

（4）経営者や財務責任者の役割を全うできる人材の養成

シミュレーション・アプローチなどによって、経営管理を計量的・計数的観点から実践的に修得し、経営者や財務責任者の役割を全うできる人材の養成を目標とする。